

外国語活動 活動報告

魚沼市教育振興会
外国語活動部

今年度から魚沼市では外国語指導補助員 2 名を配置し、各校の外国語活動の授業の充実を図っている。外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを児童が体感できるように魚沼市の各校の教員が一堂に会し、研修を深めている。平成 23 年度の活動は次の通りである。

- (1) 第 1 回外国語活動部会 平成 23 年 4 月 21 日 (小学校 9 校 会員 13 名参加)
 - 外国語活動の情報交換と年間の活動計画
- (2) 第 2 回外国語活動部会 平成 23 年 8 月 23 日 (会員 11 名参加)
 - 米山志帆、北村陽子外国語指導補助員による授業で使える教材を用いて実技研修



聞き取ったことを協力して作業する会員



会員に指導する JET

- (3) 第 3 回外国語活動部会 平成 23 年 11 月 30 日
(会員 11 名、西小職員 17 名、学習指導センター 4 名参加)

- 広神西小学校 佐野完教諭が北村陽子外国語指導補助員と共に授業公開を行い、会員が参観、その後協議会を行った。

◇ 公開授業

第 6 学年 単元名「My Dairy Routine」

- ・ 40 名の児童が前時までの学習を生かし、「自分の 1 日の様子」をグループ(5 人組 8 グループ)で発表したり、聞き取ったりする学習活動を展開した。

児童が話したり、聞き取ったりしやすいようにカードの掲示やプリントの用意等丁寧な準備や担任、外国語指導補助員が各グループを回り、指導・支援する授業提案がなされた。児童はグループの友だちに伝えたいという思いを強くもって笑顔で学習活動に取り組んでいた。

◇ 協議会

授業トークの後、下記協議題のもと、グループで和やかに協議を進め、最後に各グループで話し合われたことを紹介し合った。

- ・ 外国語活動におけるコミュニケーション力育成のための手立て
- ・ 外国語活動における異文化理解を図るための手立て

- ・ 日頃の人間関係づくりが重要である。助け合う、伝え合う活動の設定をする。
- ・ 児童のコミュニケーション力を高めるために「ペア、グループ、子ども自身がプレゼンテーションをする力」というように段階をふむ。実態に合わせて手立てが必要である。
- ・ チャンツは外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむのに有効であり、導入で使われた。スピード感をもった楽しさを感じさせるために ALT を活用し、意欲をもたせていく。
- ・ 単語や使う表現を繰り返しやりとりすることにより、発表や話し合いが充実する。
- ・ ALT や外国の方とふれあう中で「外国語活動の楽しさ」を味わわせたい。
- ・ 全職員が「外国語活動」でやっていることが見える職員間のコミュニケーションが必要である。授業を見る機会を増やしていく。
- ・ 各校の年間指導計画等情報を交換し合い参考になった。今後も研修を進めていく。



笑顔で伝え合う子どもたち